



2022年3月9日

「健康経営優良法人2022大規模法人部門（ホワイト500）」に6年連続認定



SOMPOひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下「当社」）は、経済産業省および日本健康会議が運営する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2022大規模法人部門（ホワイト500）」に6年連続で認定されました。

また、SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO 執行役社長：櫻田 謙悟）は、健康経営※に優れた企業として経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄2022」に4年連続で選定されました。

※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

1. 「健康経営優良法人大規模法人部門（ホワイト500）」の概要

「健康経営優良法人大規模法人部門（ホワイト500）」とは、大規模法人のうち、保険者と連携して優れた健康経営を実践している法人を認定・公表する制度です。健康経営優良法人（大規模法人部門）認定法人の中で、健康経営度調査結果の上位500法人のみが通称「ホワイト500」として認定されました。

2. 当社の健康経営の主な取組みと今後について

SOMPOグループは、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献することをグループ経営理念に掲げています。その中で当社は、お客さまが健康になることを応援する「健康応援企業」の確立を目指しています。お客さまの健康をサポートするためには、その原動力となる社員一人ひとりとその家族の健康維持・増進が不可欠であるとの考えのもと「健康経営」に積極的に取り組んでいます。今後も健康経営を推進し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

以上

【関連サイト】

経済産業省 健康経営銘柄

<https://www.meti.go.jp/press/2021/03/20220309001/20220309001.html>

経済産業省 健康経営優良法人認定制度

<https://www.meti.go.jp/press/2021/03/20220309002/20220309002.html>

【別紙】

当社の主な健康経営の取組み

項目	内容
健康経営推進体制の強化	2020 年度より健康経営に特化した「人財開発部健康経営グループ」を新設しました。新たな健康管理システムを導入するなど産業保健の体制を補強し、先進の健康経営の検討体制を強化しました。
ウェアラブル端末「Fitbit」の活用	歩数や心拍数、消費カロリー、睡眠時間などの日々のデータを自身で確認することで、社員の健康意識向上につなげています。また、平均歩数を社内だけではなく、他社も含めた部署別対抗戦の実施によるムードアップ、収集した健康状態のデータと健康診断結果やレセプトデータで分析を進めており、データヘルスの進化に取り組んでいます。
クアオルトプログラム※	2017 年度より全社員を対象とした 1 泊 2 日のプログラムの実施により、健康・維持増進のための実践的な知識を身につけています。(2020 年度、2021 年度については見送り)
禁煙の取組み	2019 年度より全社員就業時間内禁煙を導入、また、2020 年 4 月以降の新入社員は入社時点で非喫煙者であることを採用条件としています。現在は、社内の喫煙者向けに禁煙状況の進捗確認や保健師による個別相談等のサポートを実施し、禁煙の取組みを推進しています。 (2022年2月時点で喫煙率9.3%を達成)
メンタルヘルスケア	2021 年度より、新たなメンタルヘルス対策として、「プレゼンティーズムチェック」を導入しました。働き方の変化（在宅勤務、リモートワークの増加等）に融合した生産性の維持向上を目的として、社員自身によるセルフケアおよびマネジメントリーダーによるラインケアを継続的に実施しています。

※クアオルトプログラムとは、自然環境や温泉のある保養地での健康プログラムを意味します。

当社の健康経営の取組み詳細については、オフィシャルホームページ上でも公開しています。

<https://www.himawari-life.co.jp/company/kenko/>